

心の壁を取り払きましょう

校長 中島 清昌

11月は1日から7日の「地域が育む鹿児島県の教育県民週間」での学校参観週間、11日(土)の学習発表会、30日(木)の持久走大会、学級PTAとお忙しい中で来校していただくことが多くありました。学校生活での子供たちの様子はどうだったでしょうか。日頃の授業もそうですが、学習発表会や持久走大会では子供たちの頑張りが多く見る事ができたと思います。保護者の皆様からの声援や応援は子供たちの大きな励みになっています。ありがとうございました。

12月は、4日から10日は人権週間で、12月10日は「人権デー」となります。鹿児島県の人権教育・啓発基本計画の基本理念は次のようになります。

【基本理念】

一人ひとりの人権が尊重され、人権という普遍的文化(人権文化)が息づく心豊かな郷土鹿児島の実現

【目標】

- 共生の心が根付く鹿児島
- 人権文化の息づく鹿児島

【目指す社会】

- 一人ひとりの人権が尊重され、誰もが
- 差別や偏見、暴力のない、安心して生きることができる社会
個人の尊厳や多様性が尊重され、誰もが差別や偏見、暴力を受けず、安心して生きることができる社会づくりを行います。
- 個性や能力を発揮できる社会
すべての人は平等であって、性別や年齢、障害の有無などによって差別されず、一人ひとりの多様な個性が尊重され、個性や能力を発揮できる機会が保障される社会づくりを行います。
- 自分らしく生きることができる社会
一人ひとりの生き方や多様な文化・価値観が尊重され、自分の人権を大切に、それと同じように他の人の人権も大切にでき誰もが共に生きていく社会づくりを行います。

私たちは、性別や年齢、外見や個性の違いなどを理由に無意識のうちに心の中に壁を作ってしまう。その壁が、偏見やいじめ、差別を生み出すきっかけとなります。一人ひとりの人権が尊重される社会を実現していくためには、心に壁を作らず生活の様々な場面において、常に**自分の人権感覚を確認**することが大切になってきます。

本校でも人権に関する標語作成や人権擁護委員の方々を招いての人権教室を実施しました。また、12月9日(土)には、人権についての内容を踏まえた奄美群島日本復帰の講話を計画しています。

心の壁を取り払い、相手をよく知るためには「あいさつ」をしっかりとすることも大切だと思います。先日はスクールガードリーダーの森田紘一先生が「伊津部小の子供たちは、しっかり立ち止まって、目を見てあいさつをしてくれるので、気持ちがいいですね」と褒めてくださいました。

12月のご家庭でも人権について話し合うよい機会としてください。



【伊津部小内グデン校舍跡地】 【復帰運動の様子】



学習発表会

今年の学習発表会も大盛況でした。各学級、事前の準備から真剣に取り組む、内容も多岐に渡り、準備から発表までたくさんの学びがあったことと思います。また、来てくださった方々のたくさんの称賛で、子供たちは大いに自信をつけたことと思います。
 たくさんのご来場、本当にありがとうございました。



1年生保護者給食試食会

県民週間期間に1年生保護者を対象とした給食試食会を実施しました。コロナ禍の影響で試食会自体が久しぶりの開催となりましたが、多数の参加があり、給食を一緒に食べながら、給食の様子を確認していただきました。先日の学校保健委員会でも、食育の大切さは大きなテーマでした。ご家庭でも、食育を大切にしてください。



秋の1日遠足

15日(水)に1~4年生が遠足に行きました。1・2年生は大浜を中心に、3年は龍郷町方面、4年生はグリーンセンター・袖協同組合・住用へ向かいました。天候にも恵まれ、参加者はみんな楽しい思い出ができたようです。



金久中校区特別支援学級交流会

13日(月)奄美少年自然の家にて特別支援学級に在籍する児童生徒が集合し、交流学習会を行いました。

本校児童もみんなの前で堂々と学校紹介をしたり、ポッチャを楽しんだりとても充実した交流ができました。



読書まつり

16日(木)に読書祭りが行われました。様々な工夫が凝らされた保護者読み聞かせは、多くの子供たちの心を驚つかみ。図書委員の子供たちも読書の関心を高める本の紹介をしました。今年の読書祭りも心がほかほかする素敵な時間となりました。PTA読書委員会の皆様、本当にありがとうございました。



避難訓練

地震・津波対応避難訓練を行いました。これからも安全確保を第一に学校教育活動を展開していきます。

